

IR用地だけ特別

大阪市議会 井上氏 重大と指摘

特別委

日本共産党の井上浩大阪
市議は25日の市議会大都市
・税財政制度特別委員会
で、液状化対策を市が負担
するIR用地とは異なり、
夢洲第2期区域(万博跡地)
は事業者負担とする理由を
「土地に起因する所有者と
しての責任」という答弁に
対し、「すべての事業者と
の関係で市が土地の所有
者。IR用地だけを特別扱
いするのは、行政としての
公平性・公正性が後世に問
われる重大問題だ」とただ

質問する井上氏
25日、大阪市議会



しました。

関西電力子会社が夢洲北
東部に建設する変電所の市

有地売却がいまだに難航し
ている要因について、井上
氏は「IR用地と地理的な
条件や周辺環境はほぼ一緒
であるにもかかわらず、
IR用地の1平方メートル
約12万円に対し、変電所
は約33万円と3倍近くも高
い算定価格」だからだと指
摘。「まさに、IR用地を
大値引きしたことによる
“びずみ”の表れであり、
夢洲第2期区域の開発にも
大変な影響がおよぶのでは
ないか」と疑念を示しまし
た。